



第94号 (季刊)
平成22年 4月
田中野田町内会

<http://townweb.e-okayamacity.jp/tanakanoda/>

日本の古き良き地域社会の復活

田中野田町内会 会長 和氣 健

日本では、桜の開花にあわせて夢と希望の新年度が始まります。一年のうちでもっとも大きく生活が変わる時期です。入学や進級、就職、異動、転勤あるいは定年退職の時期であるからです。

一方、夢と希望の実現に意欲を燃やす新しい生活の始まりは、またそれだけに、環境に慣れるためのストレスもたまりやすく、疲れから変調を来す時期でもあります。それぞれが順調なスタートを切りたいと願わずにはおれません。

さて、「隣は何をする人ぞ」と言うのが現代の地域社会ですが、我が町内も600戸を超える大きな町内になり、各戸の意思疎通も難しくなり勝ちです。

しかし、現代人の胸の中にも近隣の人同士が家族同然のように暮らしをした時代への愛惜が必ずあると言われています。

つまり、日本の古きよき地域社会へのあこがれですが、具体的に言うと「知っている人がたくさんいる」、「懐かしい自然、風物がある」、「冠婚葬祭等で集まる親族がいる」の3つだそうです。そして、ふるさとが

懐かしいと感じるのはこの3つの要素が様々に重なり合うからなのです。

懐かしい自然、風物は取り戻すことができません。だとすれば親密な人間関係をとり戻して行く以外にはありません。

年寄りがいて子ども若者もいて、それぞれに居場所がある。お節介を焼く人がいて、焼かれる人がいる。お手本になる人がいて、見習う人がいる。そうした中で、自然と秩序が成り立っていたのです。

今、ふるさとという地域共同体が持っていた機能を回復させていく努力をみんなで行わなければならない時期にさしかかっているように思います。

平成22年度を迎え、我が田中野田町内会役員一同、こうした気持ちを強く意識した町内運営に取り組みますので協力賜りますようお願い申し上げます。



田中野田町内会

「平成22年度通常総会」のご案内

★日時：平成22年4月25日(日) 19:00～

御礼

の久保 仁様ご葬儀に際し、ご遺族様から町内会への御礼として金一封をご寄贈いただきました。ここに厚く御礼申し上げます。